

特別活動学習指導案

学習者 附属小学校2年3組 33名

授業者 蔦谷 友之

題材名 「2じいろしゅうかくさい」をしよう

(学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

1. 題材の目標

- (1) 収穫祭の企画について話し合ったり、準備・運営したりする活動を通して、みんなで学級生活を楽しくするために、他者と協働して取り組むことの意義を理解することができるようにする。
- (2) 学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践することができるようにする。
- (3) 学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとするようにする。

2. 題材の評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をより よくしようとする態度
みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。	学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。	学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

3. 指導と評価の計画(3時間)

時	ねらい(◆)と主な学習活動(○)	評価規準(評価方法)		
		知・技	思・判・表	主体
生活	◆(生活科におけるねらい)野菜づくりの困りを、野菜づくり名人(Sさん)に質問する活動を通して、これからの世話の仕方に生かせるようにする。(Sさんとの交流2/3)			
	○事前にSさんへの質問を記述しておく。 ○大きく育ってきた野菜を、収穫期に向けてさらに元気よく育てるためには、どのような世話の仕方がよいのかを、野菜の種類ごとに質問する。 ○活動の振り返りをする。 【想定される児童の姿】 ・初めて知ったことがたくさんあったよ。野菜ごとにお世話の仕方が全然違ったね。 ・Sさんが、一つ一つの質問に丁寧に答えてくれて嬉しかったよ。Sさんのおかげで、困りが解決できたよ。これからの世話に生かしていきたいよ。			

道徳	◆（道徳科におけるねらい）身近な人への感謝の気持ちを表す活動を通して、「ありがとう」を伝えるとどんな気持ちになるのかについて考えさせ、日頃お世話になっている人々に感謝しようとする実践意欲と態度を育てる。			
	○感謝の心を言葉に表すことについて、伝える側と伝えられる側の両者の気持ちを考える。 ○「ありがとうの手紙」を、誰に宛てて書くか話し合う。 ・個人で作成する手紙→家族や友達などに宛てて ・クラスみんなで作成する手紙→Sさんに宛てて ○「ありがとうの手紙」を作成する。			
	【想定される児童の姿】 ・Sさんが優しく教えてくれたおかげで、収穫できたよ。ありがとう。 ・野菜づくりのお仕事も大変なのに、何回も学校に来てくれてありがとう。 ・Sさんが育てた野菜が給食に出たよ。とってもおいしかったよ。ありがとう。			
朝の会	◆「2じいろしゅうかくさい」について、自分達の手で創りあげたいという意欲を高め、学習活動の見直しを持つことができるようにする。			
	○「ありがとうの手紙」を、どのようにプレゼントするか話し合う。 ○「自分たちのクラスだけでよいか」「Sさんに喜んでもらうためにどんな工夫ができるか」の視点で考えを交流し、「2じいろしゅうかくさい」のプログラム案を決める。			
給食	◆「2じいろしゅうかくさい」について、他クラスに目的や計画などを提案する活動を通して、責任を持って主体的に活動を創りあげていきたいという意欲を高められるようにする。			
	○2-1、2-2の各教室で「2じいろしゅうかくさい」の提案をする。 ○事前にロイロノートを使って、「提案理由」「日程」「プログラム案」「各クラスで話し合っしてほしいこと」についてプレゼンテーションを作成しておく。			
朝の会	◆クラスの企画について、「Sさんが喜んでくれるか」「自分たちで創れるか」の観点に沿ってピラミッドチャートに短冊を位置付ける活動を通して、「2じいろしゅうかくさい」に取り組む意義を理解することができるようにする。			
	○クラスの企画についてのアイデアを出し合う。 ○一つ一つのアイデアについて、グループで話し合い、「Sさんが喜んでくれるか」「自分たちで創れるか」の観点に沿って、ピラミッドチャートに短冊を位置付ける。 ○グループの考えを学級全体で出し合う。			
1本時	◆「2じいろしゅうかくさい」のクラスの企画について、「Sさんが喜んでくれるか」「自分たちで創れるか」の観点に沿って合意形成を図る話し合い活動を通して、「自分もよくみんなもよい」意見を考えることができるようにする。			
	○事前にロイロノートで自分の考えを提出し、他の児童の考えを読んでおく。 話し合い①：サンクミのきかくは何をするか。 ○「Sさんが喜んでくれるか」の観点については、「①ありがとう」「②たくさん知ったよ」の気持ちが伝わるものになっているかを考える。「自分たちで創れるか」の観点については、「①みんなで」「②2週間で」創れるものになっているかを考える。	・〈発言分析〉 〈記録分析〉	○〈発言分析〉 〈記録分析〉	・〈発言分析〉 〈記録分析〉

	<p>○黒板記録の児童は、賛成意見（赤）・反対意見（青）を色マークで整理して板書する。意見をまとめる際の根拠として活用する。</p> <p>話し合い②：どんなくふうができるか。</p> <p>○実践上の工夫についても、「Sさんが喜んでくれるか」「自分たちで創れるか」の観点に沿って話し合う。</p> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由に沿って、意見を考えられたよ。 ・「自分もよくみんなもよい」ものを考えたから、折り合いがつけられたんだね。 			
朝の会	<p>◆「2じいろしゅうかくさい」のクラスの企画について、一人一人が担当する仕事を話し合う活動を通して、役割を意識して集団活動に取り組もうとする態度を養う。</p> <p>○学級会で決まったことは、学年掲示で他クラスに知らせる。</p> <p>○役割分担を決める前に、その決め方について十分に話し合う。</p>			
生活	<p>◆（生活科におけるねらい）野菜づくりで学習したことを、「2じいろしゅうかくさい」のクラスの企画を準備する活動を通して、整理したり、まとめたりすることができる。</p> <p>○観察日記やロイロノートの記録を見ながら、野菜づくりの学習を振り返る。</p> <p>○活動の中で出た困りを、学級全体で共有し、話し合いながら準備に取り組む。特に、「①ありがとう」「②たくさん知ったよ」の気持ちが伝わる内容になっているかという観点に立ち返り、ブラッシュアップできるようにする。</p> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Sさんから教えてもらったことを、詳しい言葉で入れたら、「ありがとう」が伝わると思うよ。 ・野菜によって、お世話の仕方や育ち方は、ちがうことが多いけど、同じこともあるね。 			
2・3	<p>◆「2じいろしゅうかくさい」を、学年の友達と協力して運営する活動を通して、他者と協働して取り組むことの意義を理解することができる。（Sさんとの交流3／3）</p> <p>○学年全体で「2じいろしゅうかくさい」を行う。</p> <p>【プログラム（案）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①はじめの言葉 ②試食 ③各クラスからの企画 ④プレゼント渡し ⑤Sさんから ⑥振り返り ⑦おわりの言葉 <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの手で楽しい会を創ることができた。 ・Sさんが喜んでくれたことが嬉しいな。 	○ 〈発言分析〉 〈記録分析〉	・ 〈発言分析〉 〈記録分析〉	○ 〈発言分析〉 〈記録分析〉

朝の会	◆「2じいろしゅうかくさい」を振り返り、成果と課題を整理することで、これからの自治的活動に生かせるようにする。
	○成長ノートに振り返りを書く。自分自身の振り返りだけでなく、本題材を通して見つけた友達のよさや頑張りについても記述する。
	○振り返りを出し合い、成果と課題を整理する。

4. 本時の指導（1／3）

本時のねらい	「2じいろしゅうかくさい」のクラスの企画について、「Sさんが喜んでくれるか」「自分たちで創れるか」の観点に沿って合意形成を図る話し合い活動を通して、「自分もよくみんなもよい」意見を考えることができるようにする。
評価規準	「2じいろしゅうかくさい」のクラスの企画について、「自分もよくみんなもよい」意見を考えることができる。
具体的な児童の姿	・提案理由に沿って、意見を考えられたよ。 ・「自分もよくみんなもよい」ものを考えたから、折り合いがつけられたんだね。

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ◎評価〈方法〉※支援を要する児童への手立て	準備物
5	1. 議題やめあてなどを確認する。 議題：「2じいろしゅうかくさい」をしよう。 提案理由：Sさんのおかげでやさいが大きくそだった。なのに、まだ「ありがとう」の心がつたえられていない。そこで、「Sさんがよろこんでくれる」パーティーを、「自分たちの手でつくりあげたい」から。 めあて：ていあんりゆうにそって「自分もよくみんなもよい」ものを考えよう。	○自分の立場を明確にした上で話し合いに入れるよう、事前にロイロノートでそれぞれの考えを提出させておく。 ○提案理由の中にある「Sさんが喜んでくれるか」「自分たちで創れるか」の観点に沿って話し合うことを確認する。	学級会ノート
17	2. 「2じいろしゅうかくさい」で行うクラスの企画について話し合う。	話し合い①：サンクミのきかくは何をするか。 ○学級全体で話し合い、クラスの企画を一つに決めさせる。 ・「Sさんが喜んでくれるか」の観点については、「①ありがとう」「②たくさん知ったよ」の気持ちが伝わるものになっているかを考えさせる。また、「自分たちで創れるか」の観点については、「①みんなで」「②2週間で」創れるものになっているかを考えさせる。 ・黒板記録の児童には、賛成意見（赤）・反対意見（青）を色マークで整理して板書させる。意見をまとめる際の根拠として活用させる。 ・なかなか折り合いがつかない場合は、「話し合い②」に入らせ、残ったものを組み合わせられないか考えさせる。 ◎合意形成を図るために「自分もよくみんなもよい」という観点で考えを出し合うことができる。〈発言分析・記録分	

		析)	
15	3. どんな工夫ができるかについて話し合う。	<p>話し合い②：どんなくふうができるか。</p> <p>○学級全体で話し合い、実践上の工夫を決めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践上の工夫についても、「Sさんが喜んでくれるか」「自分たちで創れるか」の観点に沿って話し合わせる。 ・はじめにグループで交流させた後、全体で出し合わせる。 <p>◎合意形成を図るために「自分もよくみんなもよい」という観点で考えを出し合うことができる。〈発言分析・記録分析〉</p>	
2	4. 決まったことを確認する。	○まだ検討が必要な事項があれば、合わせて確認させる。	
5	5. 本時の振り返りを行う。	<p>○めあてについての振り返りを、学級会ノートに書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の振り返りだけでなく、友達によさや頑張りについても記述させる。 <p>○全体で交流させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由に沿って、意見を考えられたよ。 ・「自分もよくみんなもよい」ものを考えたから、折り合いがつけられたんだね。 </div> <p>・次時は、朝の会（ミニ学級会）で役割分担について話し合うことを伝える。</p>	学級会ノート